

災害運送支援協定を提案

顧客の物資 無料で

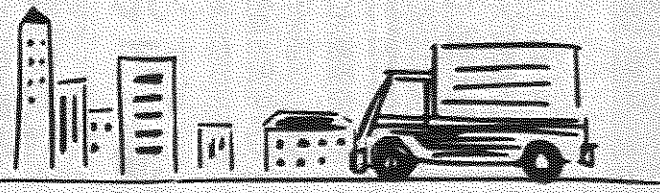
サイショウエクスプレス

「東京」サイショウ・エクスプレス(斎藤敦士社長、東京都江東区)は5月から既存顧客を対象に、大地震や台風を想定した「災害運送支援協定」の提案を始めている。合意した顧客が災害に遭った場合、必要な運送を無料で行う。

(辻本亮平)

「3・11」後悔が背景

3.11 あの日を忘れない



サイショウ・エクスプレス 災害運送支援

作成したPR動画の一コマ

斎藤社長は「3・11(東日本大震災)での経験や後悔が背景にある」と語る。未曾有の大災害の中、当時は社内で仕事で出掛けた社員が帰って来れない状況に陥ったり、燃料を確保できなくなるのではないかといった不安を抱えていた。

一方で、震災直後は救援物資の配送や、都市部での配送需要の増加から依頼が殺到。震災の年は、例年より業績が上がった。斎藤氏は「本当にそれで良かったのか、という後悔がある」と振り返る。

新型コロナウイルス禍でも、歯かゆさを感じていた。イベント資材や建設資材を多く取り扱う同社では、顧客がコロナ禍により大きな影響を受けており、運送会社として果たせる役割を模索していた。

同協定では、災害に伴う運送を、同社が無料で行う。救援物資輸送はもちろん、必要な資材の移動を手掛けることも視野に入れる。緊急性の高い運送を、スピード感を持って実行に移す。協定を交わす複数社が、サイショウ・エクスプレスの運送サービスを介して、その時々で互いに必要な救援物資を融通し合うことも考えられる。斎藤氏は「災害支援のプラットフォームを構築できれば、『何のために運送をしているのか』という使命感を持って取り組む。サステナビリティ(持続可能性)にもつながるのではないかと力を込める。

同協定のチラシを作成し、顧客への周知を進める。併せて、短い動画を制作し、SNS(交流サイト)へ投稿したり、会社ブログでのPRに活用したりしている。

客がコロナ禍により大きな影響を受けており、運送会社として果たせる役割を模索していた。

同協定では、災害に伴う運送を、同社が無料で行う。救援物資輸送はもちろん、必要な資材の移動を手掛けることも視野に入れる。緊急性の高い運送を、スピード感を持って実行に移す。協定を交わす複数社が、サイショウ・エクスプレスの運送サービスを介して、その時々で互いに必要な救援物資を融通し合うことも考えられる。斎藤氏は「災害支援のプラットフォームを構築できれば、『何のために運送をしているのか』という使命感を持って取り組む。サステナビリティ(持続可能性)にもつながるのではないかと力を込める。

採用活動 相互理解に軸足

小型送馬

迎えた。同社は今後も相互理解に軸足を置いた採用活動を展開し、未来を担う人材を発掘していく。

毎冬に実施する2日間の

を行い、全体的な車両の動きを分かりやすく説明。更に点呼現場の見学も行う。希望者には2日目にトラックへの同乗研修も実施。短

面接では必ず社
是を問いかけ
に「あいさつをし
つかのりして

女性専

【栃木】ウナン(半田臣一社長、宇都宮市)は働きやすい職場認証制度(運転者職場環境良好度認証制度)を取得し、より良い職

でいる。周りのサポートを受けながら、育児との実現している。

宮里さんは日系ペル
で、2002年9月に来



【栃木】川崎運輸(常吉社長、栃木県真岡)で活躍する女性ドライの一人、宮里ロキサナ(42)は、大型車乗務う夢をかなえ、業務に